

年間指導計画例

A 教科書の構成順序に沿った例

月	章	節	配当時間	学習の目標
4月	序章	「社会と情報」とは	2	①「情報」とは何かを考える。 ②「社会と情報」での学習に見通しを持つ。 ③自己評価を通して自身の課題を見つける。
	第1章	情報社会に生きるわたしたち	4～6	①コミュニケーション手段の発達について理解する。 ②インターネット上のコミュニケーションサービスについて知る。 ③SNSの特徴と利用上の注意点を理解する。 ④インターネット上のコミュニケーションの特性と注意点を理解する。 ⑤情報の信憑性を判断する方法を理解する。 ⑥メディア・リテラシーとは何かを考える。
4～5			④情報漏洩やマルウェアの被害を防ぐ方法を知る。 ⑤サイバー犯罪の特徴と防止策を理解する。 ⑥知的財産権とその保護の目的を理解する。 ⑦著作物の取り扱い方について理解する。 ⑧個人情報、プライバシー、肖像権について知る。	
5月				
6月 7月		アカデミック・スキルズ① レポートの作成	6	■レポート作成の一連の流れに取り組む。 ■文書処理ソフトウェアの基本操作を身に付ける。
	第2章	情報社会とデジタル技術	2～3	①情報を数値であらわすという考え方を理解する。 ②情報量の単位について理解する。 ③アナログとデジタルの違いや特徴を理解する。
6～7			④コンピュータでの文字の扱いを理解する。 ⑤音楽プレーヤの利便性とデジタル技術の関連を理解する。 ⑥音のデジタル化のしくみを理解する。 ⑦画像のデジタル化のしくみを理解する。 ⑧画像のファイル形式について理解する。 ⑨ファイルサイズや圧縮率の計算方法を知る。 ⑩圧縮のしくみや考え方を知る。	
2～4			⑨インターネットの基本プロトコルを理解する。 ⑩WWWと電子メールのしくみを理解する。 ⑪プロトコルの階層構造、TCPとUDPの違いについて知る。 ⑫コンピュータネットワークの構成について知る。	
9月				
10月		アカデミック・スキルズ② プレゼンテーション	6	■プレゼンテーションの一連の流れに取り組む。 ■スライド作成の基本操作を身に付ける。
	第3章	情報社会と情報システム	4～7	①情報システムと社会のつながりを理解する。 ②モデル化とシミュレーションの考え方を利用する方法を知る。 ③情報システムの具体例について知る。 ④ポイントカードを例に、企業による個人情報の活用例を知る。 ⑤データベースの役割や、ビッグデータの可能性について知る。 ⑥通信の暗号化について知る。 ⑦情報セキュリティや安全設計の考え方について理解する。
2～3			⑤コンテンツ産業の多様性について理解する。 ⑥情報社会を支える職業や、ものづくりと情報技術との関連を理解する。 ⑦アルゴリズムとプログラミングの考え方を知る。	
11月 12月				
1月		アカデミック・スキルズ③ 数値データの活用	6	■数値データ活用の一連の流れに取り組む。 ■表計算ソフトウェアの基本操作を身に付ける。
	終章	情報社会と問題解決	1～2	①情報格差についての問題意識を持つ。 ②テクノストレスやインターネット依存に対する問題意識を持つ。
3～5			③問題とは何かを知り、基本的な問題解決の流れについて理解する。 ④アイデアを広げる方法について理解する。 ⑤問題の明確化の流れを理解する。 ⑥解決策の検討の流れを理解する。 ⑦アンケート調査の方法を、実施時に考慮すべきことを含めて考える。	
6			■「仮説と検証」の一連の流れに取り組む。 ■研究発表の方法や留意点について理解する。	
2月 3月		アカデミック・スキルズ④ 仮説と検証	6	
		8 [議論] 未来の情報社会	2	■未来の情報社会について、基本的な考え方の枠組みに沿って、論点を意識しながら議論する。

B アカデミック・スキルズと問題解決を重視した例

※教科書全体の内容に、アクティブ・ラーニング的な発想で取り組むという考え方は。

※第1章～第3章は、各章単位で以下の表に示した活動を繰り返す想定です。

※実習に取り組む単位を、個人にするかグループにするかは各学校の判断です。

※本文をもれなく分担できれば、学習指導要領の内容を網羅することができます。

月	章	該当箇所	配当時間	生徒の活動
4月	序章	序章全体	1	<ul style="list-style-type: none"> ■「社会と情報」の全体像を、章扉を利用して把握した上で、自己評価①、②に取り組む。
	第1章 ～ 第3章	各章の章扉 各章のアカデミック・スキルズ	各2	<ul style="list-style-type: none"> ■章扉で章の学習内容の全体像を把握し、アカデミック・スキルズでの実習の流れを確認する。
		各章の本文全体	各2	<ul style="list-style-type: none"> ■本文に配置されたそれぞれのASテーマ例について、着目すべき点を確認し、あたるとよさそうな文献・資料などに見通しをつけた上で、クラス内でテーマの分担を行う。
5月 ～ 12月		各章のアカデミック・スキルズ	各 10～12	<ul style="list-style-type: none"> ■アカデミック・スキルズの解説に沿って、担当するテーマに関する情報を集め、課題を仕上げる。 ■クラス内の成果物を共有して質疑などを行い、必要に応じて自己評価、相互評価などを行う。 ■クラス内で章の学習内容についての疑問点などを出し合い、教師の解説等を聞く。 ■章末問題に取り組む。
	終章	終章全体	8～10	<ul style="list-style-type: none"> ■問題解決の流れを確認し、グループに分かれてテーマを設定し、問題解決に取り組む。 ■仮説・検証型の研究を行う場合は、アカデミック・スキルズ④を参考にする。 ■グループの成果は発表形式で報告し合い、クラス内で共有するとともに、レポートにまとめ、自己評価、相互評価を行う。
1月 ～ 3月		8 [議論] 未来の情報社会	4～8	<ul style="list-style-type: none"> ■教科書にある議論のテーマから1つを選択し、クラス全体で話し合う。または、グループごとに異なるテーマで議論し、議論の経過や結論などを互いに発表する活動なども考えられる。